

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和3年 7月15日 NO.60

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

6月定例会

豊松支所に「小さな拠点」を形成
総額2億5056万円(6月)

6月定例会は15日から23日まで開かれ、令和3年度各会計補正予算、工事請負契約の変更など27議案を審議し、原案のとおり可決・承認しました。また繰越明許費繰越計算書、令和2年度各第3セクター経営状況などの報告がありました。

**コロナ感染予防等追加補正
6月補正予算は表(総括表は
次ページ)のとおりです。**

豊松支所管理経費9499万円を補正

支所の空きスペースを改修し周辺公共施設の機能を支所内に移転し、施設の効率利用、公益機能の再編・集約化を実現し「小さな拠点」の形成を図ることを目的として実施されます。協働支援センター、社協、シルバー人材センター、商工会など移転します。まさにコンパクトシティ化です。事業効果を見極め、他地区でも実行すべきと考えます。

豊松支所管理経費9499万円を補正
支所の空きスペースを改修し周辺公共施設の機能を支所内に移転し、施設の効率利用、公益機能の再編・集約化を実現し「小さな拠点」の形成を図ることを目的として実施されます。協働支援センター、社協、シルバー人材センター、商工会など移転します。まさにコンパクトシティ化です。事業効果を見極め、他地区でも実行すべきと考えます。

一般廃棄物の広域処理

本町の中継設備整備については新設・既存設備改造など検討されてきましたが、検討内容が公表されました。

* 仮設期間を必要とせず、経済性が最も優位である。との総合評価で、



○既存施設で、ごみピット投入扉に受入れホッパを設置し、ごみクレーンにより受入れホッパに投入後、供給コンベアで直接パッカー一車に積み込む。悪臭対策は、既存の脱臭設備を継続活用する。

○稼働開始は、令和6年度からとします。

○パッカー一車(6t車)で福山市次期ごみ処理施設に搬出。

令和3年6月補正(一般会計)

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲557	7,737	人件費▲557
総務費	9,533	33億4,648	庁舎管理経費(豊松支所など)9836、かがやきネット運営経費(減免)512、自治宝くじ(草木)150、町紹介PR事業33
民生費	1,362	19億1,333	高齢者福祉施設管理経費(コロナ予防)523、子育て世代生活支援特別給付金給付事業574、母子家庭支援68、小島保育所整備▲469
衛生費	1,702	25億5,910	予防接種407、保健福祉センター管理経費98
農林水産費	2,448	7億3,719	182ST管理運営経費190、畜産振興施設整備(カメラなど)182、ひろしまの森122、小規模崩壊地復旧2000、地籍調査▲418
商工費	322	1億2,297	星居山(ペランダ)200、きのこの森(芝生)50、その他72
土木費	4,762	6億2,196	町道維持補修3482、単独町費町道整備(小島、桑木)1700、国県道333
消防費	738	4億2,269	消防設備整備(デジタル簡易無線)738
教育費	499	6億6,622	三和小プール247、図書館施設管理148
災害復旧費		1億2,636	
公債費		13億8,634	
諸支出金	4,247	3億3,292	保健医療福祉支援基金積立4126、若者定住応援基金1
予備費		4,000	
合計	2億5,056	123億5,293	

なにがどうなる

条例改正など

おもなもの

<条例制定及び条例の一部改正など>

○「町若者定住応援基金条例」の制定

※神石高原町奨学金返済支援事業（奨学金の返済において一部を支援する）の実施にあたり、財源の一部を町民などの寄付金により支援するため、基金を創設する。

○「がんばる神石高原町ふるさと応援条例」の一部改正

※具体化する事業の項へ「町内に学校を設置する学校法人の支援」を加える。←寄付は学校名を指名

*現時点では、町内学校法人は、①どんぐり幼稚園、②神石インターナショナルスクール（神石高原スクール）の2校があります。

<工事請負契約の締結と変更>

◆工事請負契約の締結 高蓋地区簡易水道 水道管敷設工事

○請負金額：67,650,000円（請負者：広瀬建設株式会社）

◆新庁舎がいよいよ完成します。（完成予定：令和3年8月20日）請負者・戸田建設株式会社 広島支店

○神石高原町新庁舎建設工事（請負金額の変更・1,636,692,275円⇒1,652,200,000円）

◆広域農道の（油木～高光）の災害復旧工事（完成予定：令和4年1月31日）請負者・株式会社後藤組

○広域農道（1）道路復旧工事（請負金額の変更・252,890,000円⇒254,725,900円）

・サーバー室分電盤の追加
・カーテンガラス仕様変更
・移動書架の仕様変更

<財産の取得>

◆新庁舎備品内の購入

○収納庫 テーブル イス（契約金額・21,010,000円）請負者：有限会社スクラム 神石支店

・盛土量の変更

令和3年度予算会計別総括表

単位：万円（四捨五入）

会計名		令和3年度			
		6月補正	6月補正後予算	摘要	
一般会計		2億5056	123億5293		
特別会計	国民健康保険	597	11億0727	職員給与▲230、財調積立828	
	後期高齢者医療	88	3億7,288	禍納付戻し10、他会計繰出78	
	介護保険	3902	18億8,047		
	内訳	保険事業勘定	3867	18億6,467	人件費▲630、基金積立2973
		介護サービス事業勘定	35	1,580	業務委託35
	簡易水道事業	602	3億3,042	維持管理550	
	飲料水供設事業	200	4,200	施設修繕200	
	農業集落排水事業	519	2億4,819	人件費▲81、施設修繕600	
	分収育林事業		370		
	総合開発事		170		
特別会計計	5908	39億8,663			
病院事業会計			27億2,940		
合計		3億0964	190億6896		
特別会計+病院事業会計		5908	67億1,603		

令和2年度事業で、令和3年度に繰越されるものも主なもの

- ・中小・小規模事業者支援事業 4000万円
- ・小規模崩壊地復旧事業 4228万円

令和2年度繰越額が確定

- ・社会教育施設災害復旧事業 6億250万円
- ・過年度発生農地農業施設災害復旧 5億4311万円
- ・7億7435万1875円

第三セクター奮戦中 令和2年度決算 ローソン初めての黒字

令和2年度第3セクターの決算報告がありました。

(株)スコラを除き、全て黒字決算となりました。

さんわ182ステーション 売上明細表

単位:万円

	売上
市場売上高	4億5,364
フードコート売上高	3,312
自販機売上高	394
その他売上高	183
ローソン売上高	1億9,036
加工品売上高	409
合計	6億8,698



*表の見方 単位:万円
上段の数値: 総収入
下段の数値: 総費用

さんわ182ステーション

年間を通し来客数46万を超え総売上高ともに昨年度を上回りました。食堂を業務委託している「高原の風」の来客数は1万7143人で前年度対比39%減。油木百彩館

神石高原農業公社

昨年減収となった調整事業・農林支援事業、田植、育苗事業が増収となり、作業受託、トマト、星居山地元移転による公共施設管

帝釈峡スコラ

昨年3月からの新型コロナウイルスの来襲のため4月5月はほぼ休業となり、学生合宿全団体キャンセルなど総売り上げは大幅に減少しました。しかしログハウスやレトルト食品売上、通信販売も順調に伸びております。

スコラ

支店は売上5979万円を微減、下げ止まり。ローソン部門の売上は3924万円(26%増)と大幅の増となりました。町からの各指定管理料収入約346万円。他に、運営経費補助として1032万円、新規冷蔵庫など特別補助金が260万円など計上されています。

スコラ

の黒字240万円を計上しました。農産物の確保、加工品の生産増、ローソン、フードコート売上増、インターネッツ販売、百彩館の赤字体質の改善など課題解決に取り組み、地域拠点としての「道の駅」の役割を再認識し、更なる発展・飛躍を期待します。

スコラ

観光地として安心な旅行、観光に最適な地であることの発信・見える化が必要で他観光地との差別化も必要と考えます。関係団体との連携を密にし、一日も早く正常運転に戻られることを期待します。

一般質問

スーパーシティ構想のイメージ



木野山 本町は、新たにスーパーシティ構想を掲げ、国の戦略特区の認定申請を行われた。非常に有用な取り組みと思うが、新しい生活環境への対応と、多大な投資費用が必要と予測される。以下伺う。

長期総合計画、第2期総合戦略との整合性は。

町長 時代に即応した情報通信基盤の整備を謳っており目指す方向は一致している。

木野山 財政計画との整合性も必要と思うが。

町長 事業規模を決めた段階で推計し財政計画を行う。

木野山 神石高原テレコムと顔認証端末未配付による住民側の対応は。

町長 通信環境が格段に改善し、本人確認が簡略化、地域通貨圏の発行や高齢者の見守り、未病の取組の一助となる。

木野山 キャリア端末を使いこなしているヘビーユーザーが格安スマホを持つ気になるのか。また逆に良く分からない

いと言われる方への対応は。

町長 一般的にスマホの使用者は多いのでそれ程問題はないと思う。

高齢者の方も使われている。今はそういうレベルだ

使用料金が格安になると説明させて頂き、同意されれば格安スマホを提供することになる。

今の普通のスマホでもアプリを入れたら健康情報などサービスを提供できる。

この形で広げて行きたい。

木野山 構想の実現には住民の理解が不可欠だ。

町民への説明は。

町長 採択に関わらずやるべき事は進めたい。

町民全体にかかわる内容なので、具体的に事業を展開する上では、しっかりと丁寧に住民説明を行う。

木野山 データの活用は両刃の剣だ。個人情報の取り扱い

町長 多くの個人情報やデータを蓄積する。特に個人情報については、個人情報保護条約に基づき、厳格に取り扱い

木野山 情報保護ルールが全国一本化されることにより、データの共有が容易となり災害対策などで連携が円滑になる利点がある一方で、住民情報の漏洩リスクが高まり、国民の監視・統制に結び付く危険も高まる。

またこれは保護の充実でなく、緩和し行政の効率化や企業などによる個人情報の利用を容易にする等指摘されている。

個人情報はその主体である個人のものである。

本町独自の方式でデータ管理をしっかりとって頂きたい。

木野山 国のデジタル庁との関連性は。

町長 デジタル庁は、単に従来のやり方をデジタルに変えるだけでなく、デジタルを中心とした、次の時代の新たな社会基盤を構築することを目的として設置される。現在、スーパーシティ構想は内閣府と協議しており、デジタル庁の設置目的からすれば、この構想との関連もあると思われます。

未来創造課長 町の個人情報保護条例の活用方法のチェックなど取り扱いについての研修を内部で行う必要がある。新しい法律の趣旨をしっかりと理解し活用したい。

木野山 国のデジタル推進計画に於いて、情報弱者など「デジタルデバイス対策」として令和3・4年度各2000億円を予算計上している。これが大いに活用すべきだ。

未来創造課長 積極的に情報を把握しながら、取り組むことが出来る事業ならば取り組みたい。

